

グリーンハウス再生プラン第三回プロジェクトチーム会議 議事録

- 日時：2006年12月23日(土)15:00～@グリーンハウス二階食堂
- 出席：石原春男(神奈川県体育協会)、宮田英夫・渥美圭一(善行雑学大学)、佐藤里紗(旧モーガン邸を守る会)、櫻中勝信(善行・大越スポーツクラブ)、平井充・山口紗由(藤沢アートワーク)、森山恒夫(神奈川県建築士会スクランブル調査隊)、桑山直子(地元住民)、鈴木(藤沢市役所)、池田(神奈川県企画部政策課)、菅孝能・蔀健夫・内藤英治・渡辺憲一・關佑也(邸園文化調査団)

■議題

- [1]アンケート経過報告(アンケート班)
- [2]現況調査報告(建築物現況調査班)
- [3]歴史資産調査(歴史資産調査班)
- [4]活用イベント企画について(活用イベント企画班)
- [5]グリーンハウス再生までの道のり
- [6]クラブハウスとしての再生イメージ
- [7]暫定利用期間の魅力づくりアクションプログラム
- [8]クラブハウス運営組織の考え方

議事要旨

[1]アンケート経過報告(アンケート班)

- 12月14日、藤沢市市民センターの協力で、周辺自治会にアンケート用紙を2,000通配布。来年1月15日〆切。A3二つ折りアンケート用紙+返信用封筒を配布、受取人払い。
- 分析はこれから行う。
- 事後報告。自治会に配布したアンケートは、藤沢アートワークでイベント時に配布したアンケートと内容が若干違う。県の意見も反映させ修正した。よって、集計の仕方が違ってくる。
- 11月19日グリーンハウス見学会での湘南邸園文化祭用アンケート、回収のやり方が良くなかったが43通回収した。回答者のほとんどが「重要な歴史的建造物だ」と答えた。見学会参加者90人の住所氏名を把握している。郵送することもできる。

[2]現況調査報告(建築物現況調査班)

- 11月18日に10名で現況調査実施。中間報告としてA3資料。
- 1～3階平面の改変状況、仕上げ、外部仕上げの状態を調査。
- 全体として：
 - 外部仕上げは劣化している。内部も同様であり、漆喰の上のペンキが剥がれている。
 - 床モザイクタイル、残っているが汚れている。
 - 水周り、配管が使えない状態、ごまかしながら使われている。トイレ、水漏れ状態。
- 調査としてはこれで作業を終わりとし、これをもとに最終報告に向けてまとめる。
- 県スポーツ課が、耐震調査の準備を進めている。
 - 調査項目、構造調査・設備調査の内容を最終調整中。調整が済んだら現況調査に入る。年明けになるだろう。年度内の調査。3月末までに終了させる。
 - 構造図面の提供は現時点では難しい？閲覧は可能とのこと。

[3]歴史資産調査(歴史資産調査班)

- インタビューした(鈴木茂雄氏、福本逸子氏)が、成果が上がるような結果になっていない。
- 鈴木茂雄氏
 - S10～14年、週末にキャディーをやっていた。とてもお元気。当時グリーンハウスはまさに「白亜の殿堂」だった。
 - 建物の中についてはあまり詳しくない。
 - 女性向けのメーゴルフ場、女性は頻繁に平日に来ていたらしい。「メーゴルフ場」は、働いていた当時には閉鎖されていた。
 - グリーンハウス南面バルコニー下の前庭は、パッティンググリーンに使われていた。
 - 三階は、宮様の更衣室、女性の更衣室だったとのこと。
- 福本逸子氏（現在は「ふくろう展示館」を運営）
 - 終戦後、グリーンハウス三階の二間に住まっていた。
 - 炊事場は階段上がって突き当たりの部屋だった？風呂は…記憶にない。
 - 一階玄関から階段下りて左手の部屋には音楽家が住み、ヤギを飼っていた。二階奥のバールームにも人が住んでいた。
 - 記憶は定かではないとおっしゃっていた。
- 建物年表、グリーンハウスがどう使われていたかを、保存運動の動き等と併せて整理した。
 - 1987年頃、県・藤沢市・県議会などに、保存陳情。最近では、平野さんが藤沢市長あてに陳情書提出。
 - 2003年県議会議員任期満了、審議未了で終了。
- 宮田さんは歴史資料をたくさんお持ちのはず。資料のリストをまず作っていただけないか？メンバーで共有しておきたい。報告書にも盛り込む。
- 年表の1931年2月に藤沢カントリー倶楽部、「9ホール仮オープン」とある。それ以前のことは分からない。鈴木さんも調べたいとおっしゃっている。
 - 設立発起人会が1930年発足。
 - 鈴木さんがキャディーしていたとき既にメーゴルフ場は閉鎖されていたとおっしゃっている。メーゴルフ場跡地で練習していたとのこと。
 - 「御殿山ゴルフ場」…既にあった？いつから？いつなくなった？
 - 法務局で、台帳を調べてみた方が良い。
 - 推測だが、御殿山ゴルフ場とメーゴルフ場があった →改修して藤沢ゴルフ場に？
 - 御殿山という名前がついているのはなぜか？
 - ◇ 白幡の向こう、藤沢宿の前田本陣だった場所に御殿山ゴルフ場がある。昭和4年の図面、震災復興図にのっている。
 - なぜ「メー」という名称なのか？女性の名前は他にもいろいろあるが。
- 軽井沢への眺望をねらって創った？荏原製作所ある場所に、「湘南の軽井沢」と書かれている。その辺についてもこれから調べる。
- 軽井沢…本当は「枯れた沢」の意。不毛の土地のこと。
 - 横浜市三ツ沢にも「かるいざわ」という町名がある。不毛なのでゴルフ場にするしかなかった？
 - サツマイモを作っていたらしい。他のものはできなかったらしい。
 - そういう歴史も一緒に整理できると面白いのではないか。
- 戦時中の配置図がある。米軍が取った航空写真。米国国会図書館に資料があるとのこと。
- 年表には書いてないが、オリンピック前、サッカー指導者クラマーさんをドイツから向かえ、日本代表がサッカー合宿した。クラマーさんはご健在。NHKでも出演した。グリーンハウスにも一度いらしている。

[4]活用イベント企画について(活用イベント企画班)

- 春には花見やりたいが、冬イベントをやりたい。音楽関係のイベントはこれまでやってきたが、スポーツ系の人たちの関心も集めたい。
- 中間報告。サッカー協会とやりとりしている。確定はしていない。実現できるかも分からない。
- ワールドカップ主審勤めた上川さんを講師でお招きし、ワールドカップを語っていただく。
 - 県サッカー協会会長も東海大の先生。縁続きでお願いしている。
 - 上川さんプロフィール:サッカー主審としては草分け的存在。2002年からワールドカップ主審。2006年、三位決定戦で主審。イギリスのマンチェスター・ユナイテッドの選手が、違反受けて倒れた。上川さんはそれを見破ったことが、評価された。
- 指導員がサッカー協会にいる。指導員も研修的にきてもらいたい。150人くらいのうち半数は指導員？共催でやるのが良い？検討中。後々のことも考えれば共催でやりたい。
- 一般の人にもたくさん来てもらいたい。大人のサッカーチームもたくさんある。少年サッカーチームはこの辺には結構ある。子ども達も喜ぶと思う。
- 日程は上川さんの予定次第。
- サッカーの歴史上では、県立体育センターは聖地。掘り下げていきたい。

[5]グリーンハウス再生までの道のり（資料 01）

- ソフト先導型の保全再生プログラム。
- 今年度の成果物の中で特にしっかり創りたいのは、「暫定利用期間の魅力づくりアクションプログラム」。
 - いかに地元の保全に対する機運を盛り上げるか？県としても、保全するというスタンスになってもらえるか？
 - 残りの検討期間で、特にこれをしっかり検討したいと考えている。
 - しっかりとした機能配置計画や整備改修計画は、県による整備改修が事業化されてから検討すればいい。
 - 現在は、建物の保全や整備改修工事を実施するか等も決まっていないという状況。調査研究と、活用実験をやりながら考えを検証し、県にも見てもらい、可能性を両方で確認し、落ち着くところに持っていく。
- 登録有形文化財の申請書は、水沼先生の方で作成していただけることになっている。

[6]クラブハウスとしての再生イメージ（資料 02）

- 三階が女性と皇族の更衣室だったとのこと。機能配置イメージでは三階には「市民ギャラリー」となっている。当初の図面には「スペシャルルーム」とあるが、これが当時の更衣室？ここにはゴルフクラブ時代の魂を入れておいた方が良いのではないか。
- トレーニングルーム、県の無料の機材があるが、旧式。ここに新式のものがあったらどうか？有料でもよい。

[7]暫定利用期間の魅力づくりアクションプログラム（資料 03）

- 建物中心の提案となっている。昨年のワークショップでは、体育センター全体エリアとして魅力づくりを検討した。「暫定利用期間の魅力づくりアクションプログラム」ではどこまでを対象とするのか、整理した方がわかりやすい。
- 体育センター内にプールがある。二階で体操教室やっている…そういった既存のソースの活用をどう考えるのか？
 - グリーンハウスの活用を検討するにあたり、県のスポーツ施設の運用と絡めるのは難しいと思う。その調整に精力を使うと前に進まない。この建物の活用に集中し、精力を使ったほうが良い。
- 未活用の部分が多い。倉庫など。見たところ、使わないものが堆積している。活かしきれしていない。空間がもったいない。それにより利用できなくなる。荷物など整理して欲しい。
- 荷物の移動は可能か？体育センターに確認した方が良い。使用許可の部屋、変えられると良い。
 - テラスに面している、一階男女トイレにアクセスできるなどの理由で、こっちの部屋(資料 03 参照)を活用できた方が良いと、取り敢えずしている。

- 玉屋食堂の荷物置き場、雨が入ってくると聞く。修繕はできないか？
- 県として、残すか残さないか？の議論が先ではないか。県はこの建物に予算をかけていない。そのためにはどうするのか？考えたほうが良いのではないか？
 - ▶ 今年度の成果物の一つである、登録有形文化財申請提案書を作成し、価値を実証する。提案書をつくる。水沼叔子先生も可能性があるといっている。まずは示す。
 - ▶ 価値を示すと同時に、地元による保全の機運を盛り上げないと、県として保全し、改修にお金をかけるというスタンスにならない。
- 以上の視点も含めて、アクションプログラムをさらに詰めていく。

[8]クラブハウス運営組織の考え方（資料 04）

- 組織イメージも、今すぐに最終形は描けない。
 - ▶ クラブハウスの先行事例を学びつつ、当面はグリーンハウスのサポーターの幅を広げることと専念するのが良いのではないか？
 - ▶ そのため、暫定利用期間においては、活用イベントをうまく活かし、クラブハウス運営組織設立に向けてネットワークを広げていきたい。
- 運営組織は、段階的にステップアップしていくイメージ。将来的に建物改修がからんでくるが、まずそういう機運を創る。段階を経てやっていく。組織も少しずつ、一部借りるなどからスタートして、発展させていく。
- クラブハウス運営組織の先行事例を調べた。二つ事例をネットで調べた。「将来形」として参考になると思う。
 - ▶ YC&AC(横浜市山手町)
 - ◇ スポーツの場とクラブハウスの場がセット。スポーツ系、文化系のプログラムやイベントがある。
 - ◇ 会員、在日外国人が多く占め、日本人は1割。会員1200人。外資系企業駐在員が多い。
 - ◇ 年間予算4億円。最初からこれは無理だろう。
 - ◇ グリーンハウスで難しいのは、スポーツ施設と建物(グリーンハウス)があるが、現在は密接には関わっていない。食堂だけ。県施設として、グラウンドは誰でも利用できるもの。会員になるとどんなメリットあるか？
 - ▶ レガッタアンドアスレチック倶楽部(神戸)
 - ◇ テニスコート、クラブハウスがセット。会費安く、バリエーションがある。年間予算8,000万～。
- グラウンドでスポーツした人がくつろぐ+周辺地域の人がここで何かやる。組織作りとしては、体育施設利用者と周辺住民を対象にして、会員にとって何がメリットとなるのか、詰めていかないといけない。
- 事例研究しながら、もう少し組織の将来形を検討していく。
- 二階食堂は、県立総合教育センター職員の利用が多い。一般向けのコーヒーや紅茶も出している。研修会の後など、教育関係者にも使える場になりうるのではないか？教育関係者も対象に何かをやってはどうか？
- 活用実験…地域に魅力を認識してもらおうという狙いも一つだが、グリーンハウスは音響が良いと評価されているのは、活用実験(コンサート等のイベント)を通じてわかったこと。活用実験を通じて、潜在的な可能性を見出す。そのためにも、グリーンハウス内でイベントをやらないと意味がない。
 - ▶ ワールドカップの話、グリーンハウスでやった上で、グリーンハウスの魅力についてもここで話さないと意味がない。そこは抑えておきたい。
 - ▶ この建物、収容人数、200人がせいっぱい。それ以上人を集めたいとなると…。
 - ▶ 200人入れば十分では？定期的に何かやれると良い？回数をこなせばよい。グリーンハウスが好きという演奏者を探し出し、年二回やる？グリーンハウスのため、経費だけでいいよというアーティスト探す？
- 県所有の施設であり、入場料をとることができない。でも入場料取らないと、イベントの質が頭打ちしてしまう。イベント継続的に行っていくためにも、稼がないといけない。
 - ▶ 湘南邸園文化祭では、開催直前に県から、入場料取れないといわれた。出演者も直前で変わった。準備が不

十分。広報も遅れた。

- 入場料ではなく「会費」というやり方をとるところもある。
- この集まりでも、終わった後懇親会行っている。一部玉屋食堂に還元。営利事業でやっているのとは訳が違う。
- 県と打合せしながらやっていく必要がある。
- 工夫が必要なところ。何かとセットにしないといけないだろう。
- 来年はグリーンハウス 75 周年。記念イベントとしてはどうか？

■次回

- 次回で集まりは最後。残りは事務局で取りまとめる。⇒次回： 2月10日(土)14:30~@グリーンハウス
- 次回論点：
 - ①「暫定利用期間の魅力づくりアクションプログラム」を膨らましたもの（←今年度しっかり作りこむ）
 - ②クラブハウス先行事例整理
 - ③歴史資料リスト
 - ④登録有形文化財申請資料
 - ⑤アンケート分析
 - などを中心に議論。
- 三月末、今年度の締めシンポジウムを予定。3月25日(日)@茅ヶ崎コミュニティホール。
 - 相模湾アカデミー(4団体) & グリーンハウス再生プランの発表の場。

議事詳細

菅孝能(邸園文化調査団)

- 第三回プロジェクトチーム会議を開催します。
- 今日は、班ごとの作業経過報告+今後の進め方について。

[1] アンケート経過報告(アンケート班)

渡辺(邸園文化調査団)

- 12月14日、藤沢市市民センターの協力で、周辺自治会にアンケート用紙を2,000通配布。
 - 来年1月15日〆切。
 - A3二つ折りアンケート用紙+返信用封筒を配布、受取人払い。
 - 現在1通回収。
 - ◇ 「歴史的建造物に思えない。体育センター利用者以外に使えるようにするのはお金の無駄」という意見。
- 玉屋食堂カウンターに置いたもの、11月25日のヴァイオリンコンサートで配布→20通回収。
- 分析はこれから行う。
- 事後報告。自治会に配布したアンケートは、藤沢アートワークで配布したアンケートと内容が若干違う。県の意見も反映させた。
 - 設問3、表現を変えた。設問8(県が保全活用策を検討中、ご存知か?という質問)、設問9(知っているか?と答えた方→どう知ったか?)、この質問はいらぬ?という県の意見→削除した。
 - よって、集計の仕方が違って来る。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 今日から神奈川県体育協会、石原春男さんが参加。よろしくお願ひします。

宮田(善行雑学大学)

- 11月19日アンケート、回収のやり方が良くなかったが43通回収。回答者のほとんどが「重要な歴史的建造物だ」と答えた。
- アンケート送るのであれば、アンケート回収を忘れたが、見学会参加者90人の住所氏名を把握している。郵送することもできる。

[2] 現況調査報告(建築物現況調査班)

森山(神奈川建築士会スクランブル調査隊)

- 11月18日に10名で現況調査実施。半日程度かかった。中間報告としてA3資料。
- 配置図、参考までに。
- 1階平面、建設当初設計図面と比べ、どう変わっているかを記入した。
 - ロッカールーム→小さい部屋に区切る。倉庫、浴室、男女トイレ、シャワールームパーティションは取り替えられている。
 - キャディー控え室はなくなっている。
 - サッシュ変えた箇所、建具を取り替えた箇所が多々ある。
 - 和室部屋・地下室外から雨…ボイラー室立ち入り不可能。
- 2階平面: 建具変わったところ…厨房カウンター、バーのあった部屋の壁は、当初は入り口と同じようなグリルだった。鉄→戦時中に供出・変更されたものがついている。
- 3階平面: 水周り大きく改変、天井まで新建材。
- 仕上げ表: 1階床はモザイクタイル、天井壁は漆喰。人が使わない部屋→モルタル。

- 外部仕上げ表：劣化が進行している。
- 立面図：劣化状態を書いた。外部仕上げはどうしようもないくらい劣化。
- 全体として
 - 外部仕上げは劣化状態。内部も同様であり、漆喰の上のペンキが剥がれている。
 - 床モザイクタイル残っているが汚れている。
 - 水周り、配管が使えない状態、ごまかしながら使われている。トイレ、水漏れ状態。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 調査は終わり、これをもとにまとめる。
- 池田さん、耐震調査は？

池田(県)

- スポーツ課が、県としての調査進めている。
- 調査項目、構造調査・設備調査の内容を最終調整中。調整が済んだら現況調査に入る。年明けになるだろう。年度内の調査。3月末までに終了させる。
- 構造図面の提供は現時点では難しい？閲覧は可能とのこと。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 年度末には状況がわかるとのこと。
- 現況調査、森山さんの方で最終報告に向けて作業をお願いします。

[3] 歴史資産調査（歴史資産調査班）

宮田(善行雑学大学)

- このところ立て込んでいて、作業が進んでいない。
- インタビューした(鈴木茂雄氏、福本逸子氏)が、成果が上がるような結果になっていない。メモは今日用意した。
- 建物年表、どう使われていたかを整理した。保存運動の動きなども。
- アルバイトでキャディーをされていた鈴木茂雄さんにインタビューした。お話好きの方。お祭りの研究されているのでその話で…。また伺います。
 - S10~14年、週末にキャディーをやっていた。とてもお元気。
 - 建物の中まで入ってこられなかった。あまり詳しくない。
 - 当時グリーンハウスは白亜の殿堂だった。
 - 女性向けのメーゴルフ場、女性は頻繁に平日に来ていたらしい。「メーゴルフ場」は、働いていた当時には閉鎖されていた。
 - グリーンハウス南面バルコニー下の前庭、パッティンググリーンに使われていた。
 - 三階、宮様の更衣室、女性の更衣室だったとのこと。
- 終戦後、グリーンハウスの三階二間に住まれていた福本逸子さん。現在は「ふくろう展示館」を運営されている。
 - 炊事場は階段上がって突き当たりの部屋だった？風呂は…記憶にない。
 - 一階玄関から階段下りて左手の部屋には音楽家が住み、ヤギを飼っていた。二階奥のバールームにも人が住んでいた。
 - 記憶は定かではないとおっしゃっていた。
- 年表
 - 1987年頃、県・藤沢市・県議会などに、保存陳情。
 - 特に最近では、平野さんが藤沢市長あてに陳情書提出。
 - 2003年県議会議員任期満了、審議未了で終了。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 藤沢カントリー倶楽部の履歴がはっきりしてきた。その後の保全の動きも整理されている。
- 宮田さんは歴史資料をたくさんお持ちのはず。資料のリストをまず作っていただけないか？メンバーで共有しておきたい。報告書にも盛り込む。

宮田(善行雑学大学)

- 歴史資料のリストは、次回用意します。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 年表の1931年2月に藤沢カントリー倶楽部、「9ホール仮オープン」とある。それ以前は？

宮田(善行雑学大学)

- わからない。鈴木さんも調べたいとおっしゃっている。キャディーしていたとき既にメリーゴルフ場は閉鎖されていたとおっしゃっている。メリーゴルフ場跡地で練習していたとのこと。
- 「御殿山ゴルフ場」…既にあった？いつから？いつなくなった？

桑山

- 私が住んでいるところ(白旗)がかつてのメリーゴルフ場。昔は男性しかゴルフできなかったが、女性向けのハーフのコースをつくったと聞いた。昔の方は結構知っていると思う。

宮田(善行雑学大学)

- 昭和初め、グリーンハウス、設立発起人会が1930年発足。
- 始めるとき、前にあったものを使っていた？御殿山とか。そのときメリーゴルフ場もあった。昔の登記書ある？

佐藤里紗(旧モーガン邸を守る会)

- 市民病院のところに競馬場。それとは別？

薮健夫(邸園文化調査団)

- 法務局で、台帳を調べてみた方が良い。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 御殿山という名前がついているのはなぜか？品川にも殿山という地名があるが。
- なぜ「メリー」？女性の名前は他にもいろいろあるが。

宮田(善行雑学大学)

- 白幡の向こう、藤沢宿の前田本陣だった場所に御殿山ゴルフ場がある。
- 昭和4年の凶面、震災復興図にのっている。
- 推測だが、御殿山とメリーがあった →改修して藤沢ゴルフ場に？
- キャディーフィーの規定の資料がある。

渥美(善行雑学大学)

- 軽井沢の眺望、…ねらって創った？

宮田(善行雑学大学)

- 荏原製作所あるところ、「湘南の軽井沢」と書かれている。その辺についてもこれから調べる。
- 戦時中の配置図がある。米軍が取った航空写真。米国国会図書館に資料があるとのこと。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 軽井沢…本当は「枯れた沢」の意。不毛の土地のこと。横浜市三ツ沢にも「かるいざわ」という町名がある。不毛なのでゴルフ場にするしかなかった？

宮田(善行雑学大学)

- サツマイモを作っていたらしい。他のものはできなかったらしい。

菅孝能(邸園文化調査団)

- そういう歴史も一緒に整理できると面白い？

内藤英治(邸園文化調査団)

- (食堂壁面に展示されている写真を見て)メリーゴルフ場と藤沢ゴルフ場、あわせて御殿山とかいてある。

[4] 活用イベント企画(活用イベント企画班)

薮健夫(邸園文化調査団)

- 中間報告。サッカー協会とやりとりしている。確定はしていない。実現できるかも分からない。
- 春には花見やりたいが、冬イベントをやりたい。音楽関係のイベントはこれまでやってきたが、スポーツ系の人たちの関心も集めたい。
- 年表には書いてないが、オリンピック前、サッカー指導者クラマーさんをドイツから向かえ、日本代表がサッカー合宿した。クラマーさんご健在。NHKでも出演した。こちらにも一度いらしている。
- ワールドカップ主審勤めた上川さん、県サッカー協会会長も東海大の先生。縁続きでお願いしている。いつになるか分からない。
 - 上川さんプロフィール、サッカー主審としては草分け的存在。
 - 2002年からワールドカップ主審。2006年、三位決定戦で主審。
 - イギリスのマンチェスター・ユナイテッドの選手が、違反受けて倒れた。上川さんはそれを見破ったことが、評価された。
- サッカーの歴史上では、体育センターは聖地。掘り下げて生きたい。
- 是非やりたい。
- 春、花見もやりたい。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 春の花見、今年度の打ち上げ？

池田(県)

- サッカー協会主催？

薮健夫(邸園文化調査団)

- 指導員がサッカー協会にいる。指導員も研修的にきてもらいたい。150人くらいのうち半数は指導員？共催でやるのが良い？検討中。
- サッカー関係者にも来て頂きたい。後々も考えれば共催でやりたい。

關(邸園文化調査団)

- スポーツ系のイベント。善行・大越スポーツクラブとしてはどうでしょうか？

櫻中勝信(善行・大越スポーツクラブ)

- 是非やってほしい。子ども達も喜ぶと思う。周知のとき協力する。

渥美(善行雑学大学)

- なかなかこういうチャンスは無い。一般の人にもたくさん来てもらいたい。

薮健夫(邸園文化調査団)

- 日程は上川さんの予定次第。サッカー協会の方が上川さんと知り合い。
- 女性には人気がある方。

宮田(善行雑学大学)

- 少年サッカーチームはこの辺には結構ある。大人のサッカーチームもたくさんある。

[5]～[8] グリーンハウス再生までの道のり/クラブハウスとしての再生イメージ/暫定利用期間の魅力づくり アクションプログラム/クラブハウス運営組織の考え方

菅孝能(邸園文化調査団)

- 事務局で今年の作業、次へのステップ、たたき台を用意している。

關(邸園文化調査団)

- 資料説明
- グリーンハウス再生までの道のり
 - ソフト先導型の保全再生プログラム。
- 今年度の成果物の中で特にしっかり創りたいのは、「暫定利用期間の魅力づくりアクションプログラム」。
 - いかに地元の保全に対する機運を盛り上げるか？ 県としても、保全するというスタンスになってもらえるか？
 - 残りの検討期間で、特にこれをしっかり検討したいと考えている。
 - しっかりとした機能配置計画や整備改修計画は、県による整備改修が事業化されてから検討すればいい。
- 組織イメージも、今すぐに最終形は描けない。
 - クラブハウスの先行事例を学びつつ、当面はグリーンハウスのサポーターの幅を広げることに専念するのが良いのではないかと？
 - そのため、暫定利用期間においては、活用イベントをうまく活かし、クラブハウス運営組織設立に向けてネットワークを広げていきたい。
- 登録有形文化財の申請書は、水沼先生の方で作成していただけることになっている。

薮健夫(邸園文化調査団)

- 運営組織は、段階的にステップアップしていくイメージ。将来的に建物改修がからんでくるが、まずそういう機運を創る。段階を経てやっていく。組織も少しずつ、一部借りるなどからスタートして、発展させていく。
- クラブハウス運営組織の先行事例を調べた。二つ事例をネットで調べた。「将来形」として参考になるかも。
- YC&AC(横浜市山手町)
 - スポーツの場とクラブハウスの場がセット。
 - スポーツ系、文化系のプログラムやイベントがある。
 - 会員、在日外国人が多く占め、日本人は1割。会員1200人。外資系企業駐在員が多い。入れ替わり立ち代り。
 - 年間予算4億円。最初からこれは無理だろう。
 - 一つの参考にはなる。
 - グリーンハウスで難しいのは、スポーツ施設と建物(グリーンハウス)があるが、現在は密接には関わっていない。食堂だけ。県施設として、グラウンドは誰でも利用できるもの。会員になるとどんなメリットあるか？
- レガッタアンドアスレチック倶楽部(神戸)
 - テニスコート、クラブハウスがセット。
 - 会費安く、バリエーションがある。親善試合もやっている。歴史もある。
 - 年間予算8,000万～。
- グラウンドでスポーツした人がくつろぐ+周辺地域の人がここで何かやる。組織作りとしては、体育施設利用者と周辺住民を対象にして、会員にとって何がメリットとなるのか、詰めていかないといけない。
- 事例研究しながら、もう少し将来形を検討していく。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 事例を通して組織体制の将来イメージも描いていけるのでは。
- 来年3月には、今年度の作業報告書として、提案的な部分と、来年度活動の方向性を打ち出す。

渥美(善行雑学大学)

- 建物中心の提案となっている。昨年のワークショップでは、体育センター全体エリアとして魅力づくりを検討した。「魅力づくりアクションプログラム」ではどこまでを対象とするのか、整理した方がわかりやすい。
- 体育センター内にプールがある。二階で体操教室やっている。そういった既存のソースの活用をどう考えていくのか？日常空間として利用もらえるように。

櫻中勝信(善行・大越スポーツクラブ)

- トレーニングルーム、県の無料の機材があるが、旧式。ここに新式のものがあったらどうか？有料にしてよい。
- 拘束されないで自由にやりたいという人が多い。

宮田(善行雑学大学)

- 建物の活用、県のスポーツ施設の運用と絡めるのは難しいと思う。その調整に精力を使うと前に進まない。この建物の活用に精力を使ったほうが良い。
- 未活用の部分が多い。倉庫など。見たところ、使わないものが堆積している。活かさきれていない。空間がもったいない。それにより利用できなくなる。整理して欲しい。

内藤英治(邸園文化調査団)

- 三階が女性と皇族の更衣室だったとのこと。機能配置イメージでは三階には「市民ギャラリー」となっている。
- 当初の図面には「スペシャルルーム」とあるが、これが当時の更衣室？ここにはゴルフクラブ時代の魂を入れておいた方が良いのでは？

宮田(善行雑学大学)

- 国会議事堂、皇族専用の控え室がある。使ったのは10年の一度。

薮健夫(邸園文化調査団)

- 県庁本庁社にもあった。吹き抜けの空間。ほとんど使っていない。

關(邸園文化調査団)

- 県の池田さんに聞くべきかわかりませんが、荷物移動は可能か？
- 体育センターに確認した方が良いでしょう。

宮田(善行雑学大学)

- 玉屋食堂の荷物置き場、雨が入ってくると聞く。修繕はできないか？

薮健夫(邸園文化調査団)

- 使用許可の部屋、変えられると良い。
- テラスに面している、トイレにアクセスできるなどの理由で、こっちの部屋を活用できた方が良く、仮にしている。

石原春男(神奈川県体育協会)

- 体育センター全体は県の所有物。将来的にこの建物だけを切り離して、運営していくことを考えているのか？
- 指定管理者などの考え方もからんでくる。そうすると利潤追求型も視野に入れないと。
- 全体的に夢のような話を語っているように見える。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 指定管理者かどうか等は、現在は僕らも分からない。
- グリーンハウスは、現在はこのスペースしか使われていない。残りは遊休化。
- 歴史的な建物。体育センターを利用する人だけでなく、地域住民にとっても魅力的に活用できる可能性がある。使い方如何で、体育センターの機能強化にもつながりうる。
- ⇒“スポーツコミュニティ”というコンセプトで活用できないか？昨年度県に提案。県は、さらに検討を進めてもいいよ、ということで、今年度研究を続けている形になっている。

- 今おっしゃったことも加味しながら検討していかないといけないが、直ぐには結論は出ない。建物の保全や整備改修工事を実施するか等も決まっていない。ある部分の研究と、活用実験をやりながら、考えを検証し、県にも見てもらい、可能性を両方で確認し、落ち着くところに持っていこうと試み。

薮健夫(邸園文化調査団)

- 指定管理者の考えも、流れとしてはある。県の公園協会、民間と競争して…そういう方向性にあるだろう。そのときに、どういう風に、と直ぐには出てこない。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 倶楽部組織、運営の仕方、事例のように、会員向けだけのクローズの組織ではないだろう。オープンにしたい。その分、財政面でも難しいだろう。少なくとも現段階の使い方ではもったいない。可能性を広げたい。

薮健夫(邸園文化調査団)

- 体育センター合宿所として使っていたが、現在は食堂のみ。放っておくと建て腐る。
- 歴史的建造物だし、有効に活用しながら、地域の人もスポーツ関係者も楽しめるようにしたいと検討している。

宮田(善行雑学大学)

- いまでも「第二合宿所」という名称。
- この建物だけに集中して、公設民営として活用する？
- 補修のための、お金を稼ぎ出さないといけない。

渥美(善行雑学大学)

- 県として、残すか残さないか、の議論が先では？
- 県はここに予算をかけていない。そのためにはどうするのか？考えたほうが良いのではないかな？

薮健夫(邸園文化調査団)

- 今年度の成果物の一つである、登録有形文化財申請提案書を作成し、価値を実証する。提案書をつくる。水沼叔子先生も可能性があるといっている。まずは示す。

關(邸園文化調査団)

- 価値を示すと同時に、地元による保全の機運を盛り上げないと、県として保全し、改修にお金をかけるというスタンスにならない。

桑山直子(地元住民)

- この場、県立総合教育センター職員の利用が多い。一般向けのコーヒーや紅茶も出している。研修会の後など、教育関係者にも使える場になりうるのではないかな？教育関係者も対象に何かをやってはどうか？

平井充(藤沢アートワーク)

- 活用実験…地域に魅力を認識してもらおうという狙い。
- イベントとして、コンサートなど、二階食堂でやった。グリーンハウス、音響が良いと評価されている。活用実験を通じてわかったこと。
- 活用実験を通じて、潜在的な可能性を見出す。そのためにも、グリーンハウス内でイベントをやらないと意味がない。
- ワールドカップの話、グリーンハウスでやった上で、グリーンハウスの魅力についてもここで話さないと意味がない。そこは抑えておきたい。

宮田(善行雑学大学)

- この建物、収容人数、200人がせいっぱい。それ以上人を集めたいとなると…。

佐藤里紗(旧モーガン邸を守る会)

- 200人入れば十分では？定期的に何かやれると良い？回数をこなせばよい。

- グリーンハウスが好きという演奏者を探し出し、年二回やる？グリーンハウスのため、経費だけでいいよというアーティスト探す？

平井充(藤沢アートワーク)

- 県所有の施設であり、入場料をとることができない。でも入場料取らないと、イベントの質が頭打ちしてしまう。
- イベント継続的に行っていくためにも、稼がないといけない。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 入場料ではなく「会費」というやり方をとるところもある。

渥美(善行雑学大学)

- 営利目的では駄目だということだろう。

平井充(藤沢アートワーク)

- 湘南邸園文化祭では、開催直前で、県庁の池田さん(都市整備公園課)から、入場料取れないといわれた。
- ヴァイオリンと、伴奏はピアノかハーブで選択。入場料取れればピアノでできたが、取れないことになり、急遽はハーブに。準備が不十分。広報も遅れた。

薮健夫(邸園文化調査団)

- 一般的には入場料はだめといわれているが…。

菅孝能(邸園文化調査団)

- この場でも、終わったあと懇親会行っている。一部玉屋食堂、一部アーティスト謝金に。営利事業でやっているのとは訳が違う。県と打合せしながらやっていく必要がある。工夫をするところ。

宮田(善行雑学大学)

- 何かとセットにしないとイケないだろう。

内藤英治(邸園文化調査団)

- 来年はグリーンハウス 75 周年。記念イベントとしてはどうか？

菅孝能(邸園文化調査団)

- 今後は資料 03(「暫定利用期間の魅力づくりアクションプログラム」)を中心に膨らませていく。
- 次回日程調整したい。三月までに取りまとめるとして、あと二回くらいか。

池田(県)

- 契約は二月までとなっている。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 次回で集まりは最後。残りは事務局で取りまとめる。
- 花見のときに報告会やる？

池田(県)

- 「相模湾沿岸の魅力向上シンポジウム」リレーシンポジウム第二回、2月3日にグリーンハウスで開催する予定。
- 三月末、今年度の締めめのシンポジウムを予定。3月25日(日)@茅ヶ崎コミュニティホール。相模湾アカデミー(4団体)&グリーンハウス再生プランの発表の場。

菅孝能(邸園文化調査団)

- 二月いっぱいまでまとめないとイケない。二月頭に次回会議を開催。⇒2月10日(土)14:30~@グリーンハウス

關(邸園文化調査団)

- 今年度の成果物としては、資料 01 のイメージで良いか？⇒承認。
- 次回、①アクションプランを膨らましたもの、②クラブハウス先行事例、③歴史資料リスト、④登録有形文化財申請資料などを中心に議論。